

編集後記 vol.8

「一年の計は元旦にあり」の諺の如く、本年こそ意義ある歩みの一年にしたいと考える。それにしても理想と現実の乖離は年を追うごとに激しくなる。政治・経済・文化などのいずれも革新性から遠ざかりつつある。(GTO)

去年は海外旅行を控え、国内旅行に多くいきまし。今年のおみくじは半吉でしたが、旅は遠方に行くのと良いとあったので、久しぶりに海外へ旅立とうと思いま。計画するのが楽しみです。(きょうらいん)

初めて冊子の編集に携わりました。普段何気なく読んでいた雑誌の裏方さんの仕事内容が分かった新鮮でした!(ヤナ)

お子様の大学選びにはお母様方の助言が大きく左右されるそうです。ぜひ「えっくす」を読んでいただき大学選びの参考にしてください。来たれ!三重大学へ!(ともぞー)

巻頭インタビューでは三重大生の若いエネルギーを、「おもしろ先生」では教員の研究にける情熱を感じました。「えっくす」は単なる成果報告に留まるのではなく、三重大大学のパワーを伝えられる広報誌でありたいと思っています。写真は旅行先で見た富士山です。(sumi)

また年明け早々にフクロウカフェで癒されたのですが、餌の鼠を食べてる姿を見せられ衝撃的でした。今年は仕事も地固めと思っていますが、年明けから衝撃的で落ち着けるか心配になってきました。頑張ります。(nico)



今年も、西年。「申酉(さるとり)騒ぐ」という格言があります。広報室もえっくす冬号の編集が年末年始を挟み、騒がしい年明けとなりました。今年一年、ケッコウ一年になりますように。(北の大地)

アンケートに答えて... 三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成29年3月31日(金)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、三重大大学魚醤「鮭びしお」1本、三重大大学学長給1袋、三重大大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(付箋1個、蛍光マーカー(3本入)1個)」をお送りします。どしどしお寄せください。

*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



教養は、エネルギーだ。【4月入学生募集!】

- ◆テレビ・ラジオ・インターネットで学べます。
- ◆入学試験はありません。(大学院博士・修士全科生を除く。)
- ◆1科目(2単位)11,000円(教材費を含む)から、キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)、資格取得、生涯学習など目的に応じて、在学期間・科目を選んで学べます。

出願期間 第1回募集:平成28年12月1日(木)~平成29年2月28日(火)
第2回募集:平成29年3月1日(水)~平成29年3月20日(月)

インターネットで資料請求・出願できます!
放送大学 後援 www.ouj.ac.jp
資料請求専用フリーダイヤル ☎ 0120-864-600

artopia co., ltd.

- ロゴタイプ・シンボルマーク
- 会社案内各種パンフレット
- キャラクター
- ポスター、DM、チラシ等の企画・制作

有限会社 アートピア
三重県津市一身田平野182-60 〒514-0111
TEL059-232-3559 FAX059-232-0506 E-mail:artopia@ztv.ne.jp

ええ旅ないが。 おかげ旅行社 ええ旅ツアー

堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかげ旅行社」ツアープランナーとなって、シーズンや行事など吟味したベストタイミングの「ええ旅プラン」をプロデュース! 2~3月には三重県、奈良県を紹介予定。

毎週月曜日 19:00~19:55 ※土曜曜 12:00~再放送

毎月第4火曜日 12:00~12:30 再放送は エムツー(第2チャンネル)で当日17:00~/翌朝7:00~/ご覧ください。

三重の力を世界へ! 教育・研究・医療・地域貢献など、さまざまな分野に全力で取り組む三重大大学の「今」を熱くお伝えします!

※放送日時是一部変更となる場合があります。



「初しぐれ猿も小蓑をほしげ也」伊賀越の山中で初しぐれに遭つての芭蕉の句です。長野峠を越え、安堵の気持ちで差し掛かる集落は上阿波。この句の頃までは宿場でしたが、のち宿場は平松に移り、農村に還つていきました。平松も今は静かな町で、家々の格子にかつての面影を残しています。

ここを過ぎると、右手に新大仏寺が見えてきます。平氏の焼き討ちで焼失した東大寺を、再建した重源上人の開いた寺です。ここは東大寺再建の用材を確保する拠点でした。本尊は丈六の阿彌陀三尊立像ですが、江戸初期には寺は荒廃し、芭蕉は「丈六に陽炎高し石の上」と詠んでいます。その後、寺は復興し、阿彌陀三尊も修理されて坐像となりました。

富永から下阿波を過ぎると、谷筋は狭がり、小盆地になります。二つ目の宿場、平田は三町からなる大きな町です。ここが賑わうのは夏、植木神社の祇園祭の時、山車、神輿、祇園花の行列が街道筋を巡行します。

平田の先は、左右に山が迫り、谷がにわかに狭くなります。このあたり、中ノ瀬から荒木にかけての街道沿いの岩壁には、鎌倉から室町期の磨崖仏が刻まれています。中でも阿彌陀三尊仏の中尊は像高二・七mを超える巨像です。

これを過ぎると、風景は再び拡がり、盆地となります。目の前に上野の城下町の台地が見えます。「さまざまのことおもひ出す桜かな 久々に帰省した芭蕉はこの句を詠みました。伊賀も間もなく桜の季節を迎えます。」

菅原洋一 三重大大学院工学研究科教授



芭蕉像(上野市駅前)

磨崖仏(伊賀市教育委員会提供、一部加工)



▼平田の祇園花の行列(伊賀市教育委員会提供)



歴史街道シリーズ 伊賀街道 長野峠(伊賀上野)



● 本誌お問い合わせ先 ● 三重大学企画総務部総務チーム広報室
● 広告掲載のご依頼 ● 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

● 三重大X[えっくす] vol.37
平成29年1月発行
● 発行/三重大大学広報委員会
● 編集/三重大大学企画総務部総務チーム広報室
● 印刷/有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp
◎ 禁断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。